

平成31年第5回公安委員会会議録

日 時	自午後1時30分 2月14日（木曜日） 至午後4時00分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	高木委員長 原委員 山本委員 小野委員 下山委員	
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長	

第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞8件、意見の聴取25件について説明があり、決裁が行われた。

第2 定例会議

1 平成31年春の組織改正の概要について

平成31年春の組織改正の概要についての報告が行われた。

【委員からの質問等】

委員から「働き方改革に取り組んでいるが、その成果は組織改正に結びついているか」旨の発言があり、警察から「業務負担を算出する際、働き方改革の成果も反映している」旨の説明があった。

2 平成31年度警察費当初予算（案）の概要について

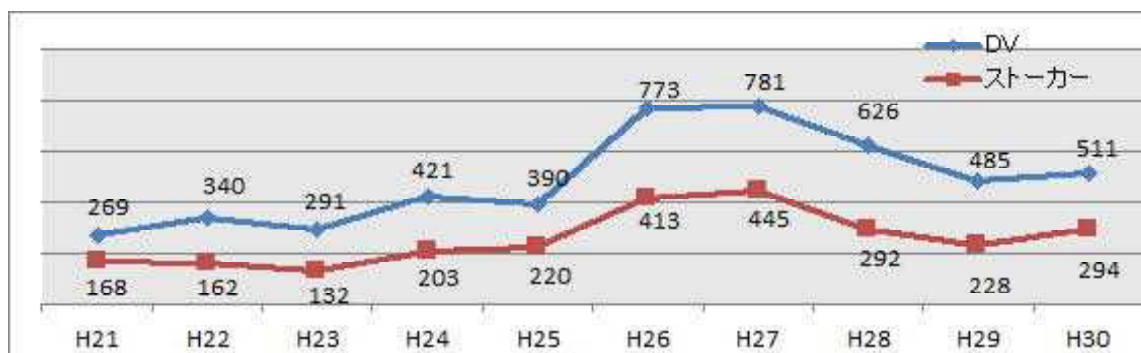
警務部から、平成31年度警察費当初予算案の概要についての報告が行われた。

【委員からの質問等】

委員から「交番相談員の人数は知事部局との関係で決まっているのか、それとも警察庁から規模別に示されるのか」旨の発言があり、警察から「知事部局との交渉の中で嘱託職員の人数が決まっている」旨の説明があった。

3 平成30年中の人身安全関連事案の対応状況について

(1) ストーカー・DV事案対応状況（H30年中） ※平成30年数値は暫定値



ア ストーカー事案

年次\区分	認知件数	措置内容				口頭警告	口頭警告率
		文書警告	禁止命令	検挙			
				ストーカー規制法	他法令		
平成30年	294	23	14	2	33	281	95.6%
平成29年	228	12	10	6	22	201	88.2%
増減	66	11	4	-4	11	80	7.4%
増減率	28.9%	91.7%	40.0%	-66.7%	50.0%	39.8%	

イ

D V 事案

年次\区分	認知件数	措置内容				口頭警告	口頭警告率
		保護命令		検挙			
		書面請求	命令決定	保護命令違反	他法令		
平成30年	511	32	28	1	113	452	88.5%
平成29年	485	53	42	1	94	418	86.2%
増減	26	-21	-14	0	19	34	2.3%
増減率	5.4%	-39.6%	-33.3%	0.0%	20.2%	8.1%	

(2) 初期的事態対処チームの活動状況

年次\区分	対応件数	ストーカー	DV	男女間トラブル	行方不明	高齢者虐待	児童虐待	障害者虐待	その他
H30	5332	863	1657	1035	676	88	119	4	890
H29	4677	769	1552	884	522	54	123	15	758
増減数	655	94	105	151	154	34	-4	-11	132
増減率(%)	14.0%	12.2%	6.8%	17.1%	29.5%	63.0%	-3.3%	-73.3%	17.4%

※ 「その他」は、親子間トラブル、知人間トラブル等

※ 対応件数には、認知した事案の継続対応件数等を含む

(3) わいせつ・声かけ事案届出、通報状況（H30年中）

ア 過去5年間の届出、通報件数

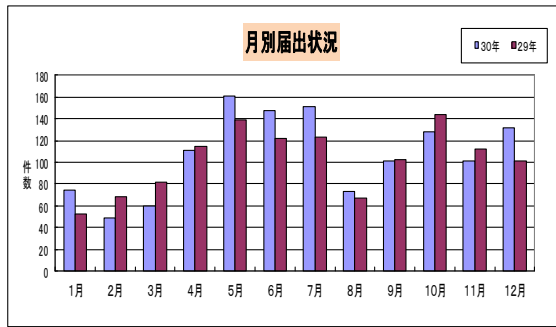
年	H26	H27	H28	H29	H30
件数	1,277	1,486	1,252	1,228	1,287
指数	100.0	116.4	98.0	96.2	100.8

※ 件数は、各年の12月末現在の数である。

※ 指数は、平成26年12月末の件数を100として算出した。

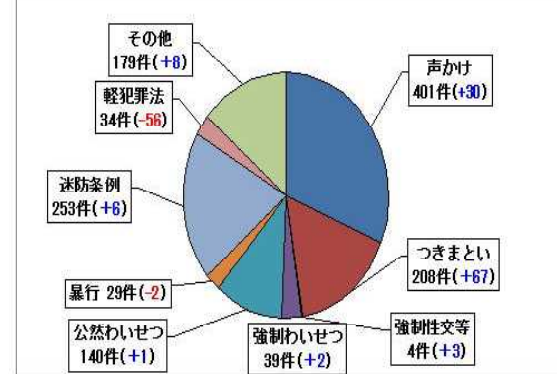
※ 過去4年の平均値1,311件と平成30年12月末現在との比は-24件であった。

イ 月別届出・通報状況



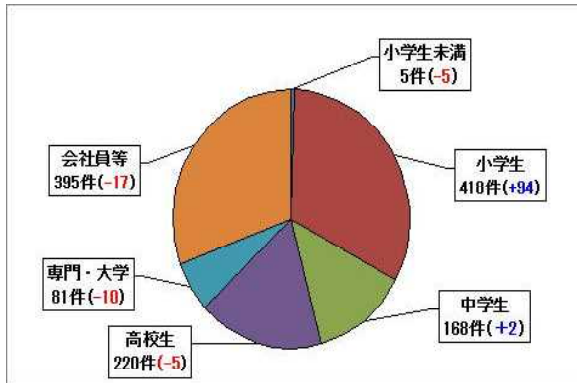
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
30年	74	49	60	111	161	147	151	73	101	128	101	131	1,287
29年	53	68	82	115	139	122	123	67	102	144	112	101	1,228
各月比	+21	-19	-22	-4	+22	+25	+28	+6	-1	-16	-11	+30	+59

ウ 手口別状況



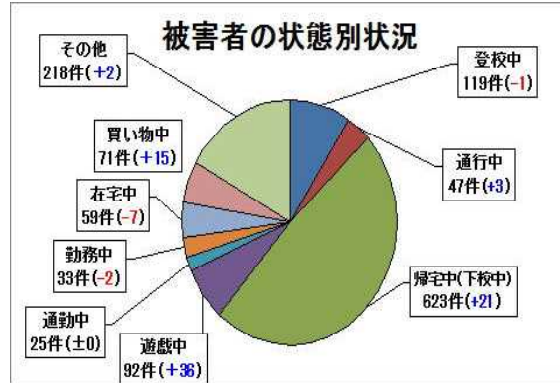
※ () は、前年同期比 (件数) の増減を表す。
 ※ 「その他」は、盗撮に当たらない写真撮影事案、住居侵入、その他法令違反とならない凝視、呼び止めなど。

エ 被害者の学職別状況



※ () は、前年同期比 (件数) の増減を表す。
 ※ 「社員等」は、会社員・公務員、医師・看護師、風俗・飲食業、アルバイト、主婦・無職など。

オ 被害者の状態別状況



※ () は、前年同期比 (件数) の増減を表す。
 ※ 「その他」は、被害者不明 (未聴取含む) で、入浴中、飲食中、待ち合わせ中、用便中など。

(4) 検挙、指導・警告状況

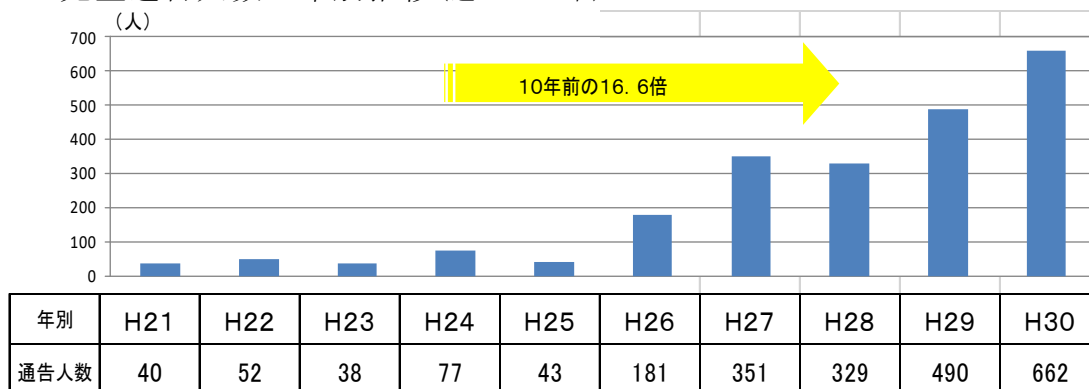
		迷惑防止	軽犯罪法	公然	強	強	わいせつ	わいせつ	その他	小計	合計
		条例違反	違反	わいせつ	わいせつ	制的性交等	目的 住居侵入	目的 暴行			
H30中	検挙件数	57(24)	7(2)	24(4)	12(2)	2(0)	2(0)	1(0)	1(0)	106(32)	333 (124)
	指導・警告件数	56(25)	23(9)	16(10)	0(0)	0(0)	1(0)	6(1)	125(47)	227(92)	
H29中	検挙件数	67(18)	11(3)	20(10)	13(2)	1(0)	6(0)	1(0)	5(4)	124(37)	340 (110)
	指導・警告件数	33(9)	29(12)	6(3)	2(0)	0(0)	1(0)	1(1)	144(47)	216(72)	

※ () は、本部対策係の実施件数 (内数)
 ※ 数値は活動実績を表し、犯罪統計とは異なる。
 ※ H30中「その他」の内訳～検挙 (未成年者誘拐1件)、指導・警告 (声かけ80件、写真撮影36件など)

4 平成30年中の児童虐待事案の現状と対策強化について

(1) 児童虐待対応の現状

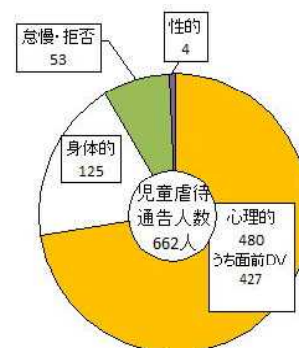
ア 児童通告人数の年別推移(過去10年)



イ 態様別通告状況(平成30年中)

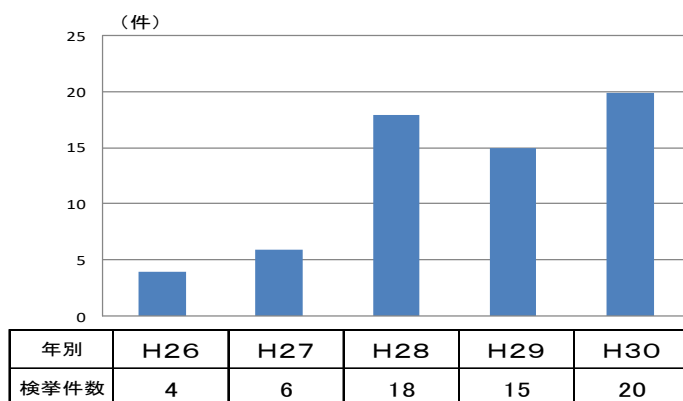
	通告数(人)	心理的		身体的	怠慢・拒否	性的
		うち面前DV				
H30年中	662	480	427	125	53	4
H29年中	490	330	292	112	42	6
増減	172	150	135	13	11	▲2

(▲は減少を示す)



ウ 事件検挙状況

(ア) 事件検挙件数の年別推移(過去5年)



(イ) 虐待態様別の検挙状況



(2) 警察の取組

- ア 児童の直接目視による安全確認・安全確保の徹底
- イ 迅速かつ確実な児童通告の実施
- ウ 積極的な事件化措置
- エ 警察本部における児童虐待情報の一元管理及び各警察署への指導の徹底
- オ 児童相談所等関係機関及び他府県警察との連携

(3) 新たな取組

- ア 体制の強化
- イ 児童虐待情報管理システムの構築

【委員からの質問等】

委員から「児童相談所、教育委員会等の関係機関との連携強化をしていくという説明を受けたが、これは絶対必要だと思う。特に警察では積極的な事件化に取り組んでいるということなので、頼りにしている」旨の発言があった。

5 平成30年中の生活環境事犯取締り結果について

(1) 生活環境事犯検挙状況

区分 \ 年次	26	27	28	29	30	前年比	
生活経済事犯	件数	87	129	110	103	75	-28
	人員	50	43	45	50	58	+6
環境事犯	件数	98	124	95	113	134	+21
	人員	107	138	108	118	145	+27
風俗事犯	件数	46	49	48	70	118	+48
	人員	70	65	29	51	73	+22
秩序・諸法令違反等	件数	198	241	236	232	240	+8
	人員	183	199	178	190	211	+21
合計	件数	429	543	489	518	567	+49
	人員	410	445	360	409	485	+76

(2) 犯行助長サービス対策の実施状況

区分 \ 年次	26	27	28	29	30	前年比
口座凍結	553	677	323	414	265	-149
携帯電話対策	195	189	119	75	105	+30
有害情報削除	37	65	159	104	297	+193
ヤミ金融相談件数	538	363	168	123	98	-25

(3) 主な検挙事例

ア 韓国産アサリの産地偽装に係る不正競争防止法違反事件

山口県宇部市の水産物輸入卸売業の代表取締役等が帳合業者と共謀の上、千葉県等の水産会社11社に対して韓国産アサリを販売するに当たり、納品書に「熊本産あさり」と記載する等して、産地を偽装したもの

※ 帳合業者～商品の授受は行わず帳簿上で商品の所有権だけを取引する業者

イ 熊本地震廃棄物処理手数料減免制度を悪用した廃棄物処理法違反（一般廃棄物の無許可収集業）及び詐欺事件

一般廃棄物収集運搬業者が、許可を受けていない熊本市外において、廃棄物の収集を行い、さらに、熊本市外で収集した一般廃棄物を熊本市内の廃棄物処理施設に持ち込み、事前に取得した熊本地震災害関連の廃棄物に適用される廃棄物処理手数料減免承認書を悪用し、熊本市内で収集した震災関連の廃棄物と偽り、不正に廃棄物処理手数料の支払いを免れたもの

ウ 半グレ集団が関係するぼったくり店に係る風営法違反（無許可営業等）事件

半グレ集団が関係するぼったくり店を風営法違反（無許可営業等）で順次摘発し、一掃したもの

(4) 今後の方針

ア 被害拡大防止を意識した悪質商法事犯や廃棄物事犯等の早期事件化

イ 国際スポーツ大会を見据えた繁華街における風俗事犯取締りの強化

ウ 震災に関連する悪質商法事犯、不法投棄事犯、外国人違法雇用事犯等に対する取締りの推進

6 「熊本城マラソン2019」（第8回大会）の開催に伴う警察諸対策について

(1) 概要

ア 日時：平成31年2月17日（日） 午前9時から午後4時までの間

イ 主催：熊本城マラソン実行委員会（熊本市、熊本日新聞社、熊本陸上競技協会）

ウ 種目（定員及び出走順）

① 金栗記念熊日30キロロードレース（150人）

② 歴史めぐりフルマラソン（13,000人）※前回大会から1,000人増

③ 復興チャレンジファンラン（1,500人）

(2) 警備体制

ア 警察の体制

(ア) 交通対策

交通部長以下 約180人体制（交通部各所属及び市内4警察署）

※ 当日午前6時、501会議室に県対策本部を設置

(イ) 雑踏対策等

約100人体制

地域課、機動通信課及び管轄警察署（熊本中央警察署、熊本南警察署）

イ 主催者の体制

熊本市職員、警備員、ボランティア等 合計 約6,400人

(3) 交通対策

ア 交通総量抑制

コース周辺の乗り入れや通過交通抑制のための広報を実施

イ 交通規制

ランナーの通過状況に合わせて交通規制を実施

ウ 交通整理（信号交差点に警察官を配置）

コース上、関連交差点において、手動操作による交通整理を実施

(4) 警備対策

ランニングポリス等

○ 不審者の警戒及び不審物の早期発見

○ テロ等不法事案の未然防止

○ 事件・事故等への迅速な対応及びランナーや観客の安全確保

【委員からの質問等】

委員から「雑踏が多いのはどこか」旨の発言があり、警察から「スタート地点、流通団地、アクアドーム付近や催し物が準備されている川尻、飽田付近での応援による雑踏が多いようである」旨の説明があった。

また、委員からランニングポリスについて「PR効果もあるので頑張ってもらいたい」旨の発言があった。

第3 報告・決裁等

- 1 平成31年第4回公安委員会会議録の決裁
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 2 人事異動関係報告
警務部長から報告が行われた。
- 3 緊急事態等における警察広報の補足説明
警備第二課次席から説明が行われた。